

にしよん

8/1 「愛南のしずく」が決定!

愛南町をイメージしたオリジナルデザインの真珠製品を作成して、町を広く全国にPRしようと「愛南のしずく(真珠の輝き)コンペ」が、DE・あ・い・21で行われ、最優秀作品「umi」最優秀作品に東京都文京区の向井さやかさんの「umi」が選ばれました。同作品は、携帯ストラップとして平成21年の成人式で新成人の方に贈られます。また、若い世代に真珠製品をPRしようと、愛媛大学の学生(32名)に最終審査を行っていただきましたが、一点一点を手にとって丁寧に審査をされていました。また、審査の前には、真珠を使った携帯ストラップづくりや真珠の玉入れ(挿核)作業にも挑戦し、農学部2年の上田瑞穂さんは「両手を駆使した細かい作業が難しかったが、いい思い出になった」と話していました。



8/8・9 避難所生活を体験!

東海小学校で、児童や保護者、地区住民、約50名が参加して、南海地震を想定した津波からの避難や炊き出し、宿泊等の各種防災訓練が、1泊2日で行われました。

避難訓練では、同校から避難場所まで、目・耳・足の不自由な方の介助をしたり、避難経路の危険箇所調査が行われました。また、避難所を想定した体育館では、消防署員から、非常食の作り方や負傷者への応急措置法など、参加者にとって、身近な生活環境を通じて災害への備えを学ぶ機会となったようです。

8/10 虹の灯り

須ノ川公園で、ヒオウギ貝を飾り付けた特製のキャンドル、1,000個の幻想的な灯りを楽しむ「虹の灯りプロジェクト'08」が行われました。当日は、約100名の親子連れが、楽しそうに手作りキャンドルを作っていました。また、日が暮れ始めた午後5時過ぎから、同公園の芝生広場では、愛南音遊プロジェクト(6バンド)が生演奏を披露するなど、まるで南国リゾートにいるような心地よさを感じる一日となりました。



愛南こみゆ



7/1 明るい社会を創ろう

南宇和保護司会が久良小学校で「社会を明るくする運動」についての学習会を行い、児童からは「ぼくたちにできることはありますか」など、積極的な意見が多く出され、誰もが安心して暮らせる愛南町づくりを考える機会となりました。この運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとするものです。今後、社会の中でこの運動が浸透していくことを期待したいと思います。

7/26・27 南海地震に備えて

長月小学校で、児童や保護者、教職員、陸上自衛隊等、約110名が参加して、1泊2日の防災キャンプが行われました。このキャンプは「南海地震」をテーマに、身近な生活環境の中での危険性を探し、自分たちで考え、行動することの大切さを親子で学ぼうと、同小PTAの愛護班活動として行われたものです。訓練では、自衛隊員の指導の下、危険箇所調査や避難生活を想定したテントの張り方、炊き出しなどが行われ、親子や友人との絆が深まった訓練となったようです。



7/26 実験って、面白いね

御荘文化センターで、不思議科学体験「わくわく科学実験ショー」があり、小中学生や保護者など約400名が、科学の不思議な世界を楽しみました。会場では、空気のパワーを活かした巨大空気砲や空気の重さ実験「巨大風船まき」などのサイエンスショーが繰り広げられ、子供たちも目を輝かせ、飛び上がって喜んでいました。

サイエンスプロデューサーの杉木優子さん



7/27 ふるさとの海を満喫

サンゴの群生などを見ることが出来る須ノ川海岸で、地域の豊かな自然を体験しようと、柏小学校の全校児童やPTAが参加して「海の学習」が行われました。この行事は、同校が6年前から取り組んでいるもので、この日を楽しみにしていた子どもたちは、スノーケリングやシーカヤックで、ふるさとの海を満喫していました。